## 勤務表フォーマット作成方法について

1.本資料をダウンロードした画面にて、「ひな形」のリンクをクリックし、ベースとなるExcelファイルをダウンロードしてください。

「workReportFormat.xlsx」又は「workReportFormat60.xlsx」のどちらかがダウンロードされます。

管理者設定 [タイムカード 勤務表フォーマット設定]		<b>~</b> 0 K	<b>今</b> 戻る
フォーマット	カスタムを使用する場合は、勤務表のPDF出力が出来なくなります。 〇デフォルト    ・カスタム		
カスタムフォーマット※	<ul> <li>※ 添付</li></ul>		
		<b>O</b> K	<b>う</b> 戻る

図1 管理者設定 タイムカード 勤務表フォーマット設定画面

2.ダウンロードしたExcelファイルを開き、シートが2シート「Sheet1」「Sheet2」があることを確認してください。

3.GroupSessionからのデータは全て「Sheet2」に出力されます。 「Sheet2」の値を参照するように「Sheet1」を自由に変更してください。 休日の網掛け部分は「条件付き書式」を使用して変更が可能です。

%「Sheet2」はGroupSessionからデータが出力されるシートのため、変更を行わないでください。

○登録例:残業時間が発生している場合に、備考に「残業」と表示する Sheet2のI列が各日の残業時間を表示しています。

そのため、「Sheet2!16」で最初の日付の残業時間を参照することができます。

ExcelのIf関数と組み合わせて、以下の参照を行います。

=IF(Sheet2!I6="","","残業")

これにより表示している最初の日付に残業時間が発生している場合に、

残業と表示されます。

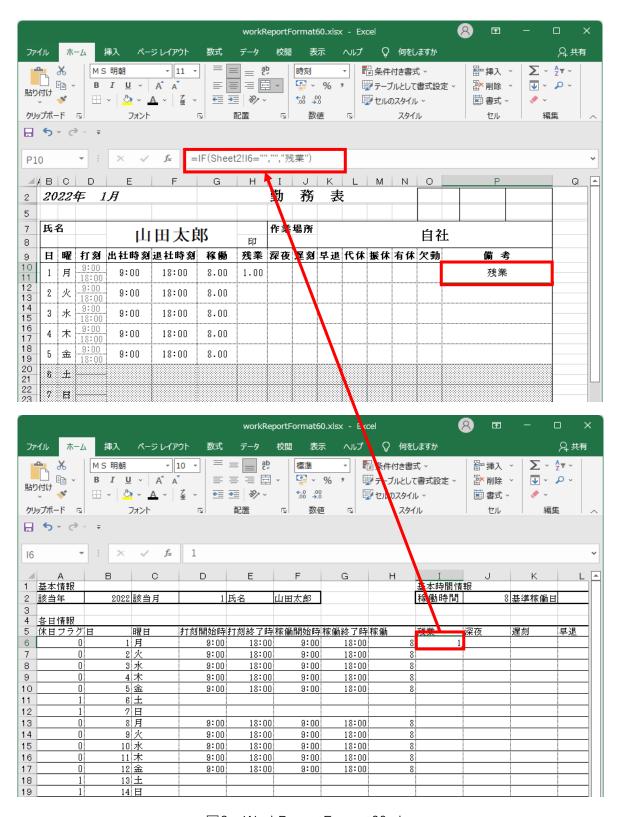


図2 WorkReportFormat60.xlsx

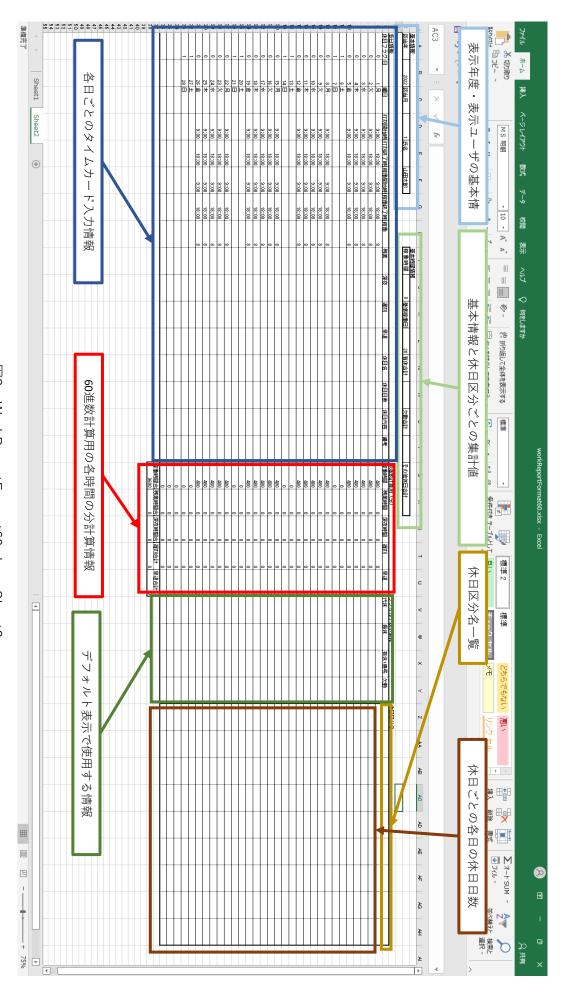


図3 WorkReportFormat60.xlsx Sheet2